

## 平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果



文部科学省は、2月13日、小学5年と中学2年を対象とした全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を公表しました。この調査は、児童生徒の体力・運動能力、生活習慣等の現状を把握・分析し、今後の体力・運動能力の向上に活用することをねらいに、実技に関する調査と質問紙調査で行われました。

実技に関する調査は、握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・20メートルシャトルラン（中学2年は、持久走との選択制）・50メートル走・立ち幅とび・ソフトボール投げ（中学2年は、ハンドボール投げ）の8種目を行いました。

それによると、本道の児童生徒の体力・運動能力は、小中ともに昨年度から点数自体は上がり、過去5年で最も高い結果となりました。小学5年は、男女の握力とボール投げで上回りました。また、中学2年で全国平均を超えたのは、男子の握力のみでした。

本町の小・中学校の児童生徒の結果は、全国平均との比較で以下のとおりでした。

種目	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	体力合計点
全国平均	16.51	19.92	33.15	41.95	52.24	9.37	151.71	22.53	54.16
和小男子	18.42	16.75	35.50	37.18	40.27	9.74	151.55	24.55	51.18
全国平均	16.12	18.81	37.43	40.06	41.62	9.60	145.47	13.94	55.72
和小女子	19.38	20.69	42.38	42.75	40.69	9.07	155.56	15.94	61.94

種目	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	持久走(秒)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ハンドボール投げ(m)	体力合計点
全国平均	28.89	27.45	43.20	51.89	391.23	85.99	7.99	194.54	20.56	41.96
和中男子	25.22	19.78	40.33	44.78		61.44	8.28	176.44	20.33	35.75
全国平均	23.82	23.73	45.86	46.76	287.3	59.14	8.80	168.57	12.96	49.80
和中女子	22.10	19.44	44.60	41.50		42.70	9.19	166.30	14.50	44.22

この結果から、体力合計点をみると、小学女子で全国を上回ったものの、小学男子と中学男女とも全国平均を下回りました。しかし、種目別では小学男子の「握力」「長座体前屈」「ソフトボール投げ」、小学女子の「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」で全国を上回りました。中学男女では、「ハンドボール投げ」で全国と同程度、または上回りました。

また、小学校児童質問紙では、「運動やスポーツをすることが好き」、「運動やスポーツは大切なもの」、「家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめられる」と回答した児童が全国を上回りました。一方中学校生徒質問紙では、「運動やスポーツをすることが好き」、「運動やスポーツは大切なもの」「やや大切」と回答した生徒が全国を上回りました。

このことから、児童生徒の運動への関心や部活動や地域のスポーツクラブに所属している割合が高いものの、運動に対する継続的な取組が弱く体力向上に結びついていないことが考えられます。加えて、児童・生徒質問紙の回答から「テレビ等の視聴が長い」等の生活習慣の不規則さも体力向上を阻む一因と考えられます。

今後、各学校においては、この調査結果をもとに授業改善や「1校1実践」の内容を検証し、体力向上に向けた習慣化の一層の推進を図りさまざまな取組や支援を行なってまいります。また教育委員会としても、成長期にある子どもたちの「知・徳・体」の調和のとれた教育を粘り強く推進するとともに、本町の子どもたち一人一人に生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、体力の向上に向けた取組を学校・家庭・地域・行政が一体となって推進してまいります。